羅臼町広報誌
魚の城下町
みんなが主役のまち
7
2015
NO.271

祝！世界自然遺産10周年
まちを愛して、まちをきれいに！
～本町みどりの会～

FIGHTERS
2015年羅臼町応援大使
私たちは羅臼町を応援します!!

羅臼町が幸福になるための『Kプロジェクト』

－町長行政執行方針－

私は、この度の統一地方選挙におきまして町民の皆様の信託を頂き、羅臼町長に就任し、町政を担当させて頂くことになりましたが、その責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。同時に私の愛してやまないここ「知床らうす町」という船の船長として舵を持たせて頂けますことにこの上ない喜びと町民という多くの乗組員の安心・安全を確保しながら「幸福」への航海が始まることへの期待感と覚悟をさせて頂いたところであります。

初代羅臼村長　村田吾一氏から数えて私で7代目となりますが、先人の築かれてきた歴史ある羅臼町の町長として、責任を持ってお預かりし、町民の幸福のために全力を尽くすことをはじめにお約束させて頂きます。

まちづくりの基本姿勢

行政を執行していくにあたり、基本的には、現在までの取り組みを引き継ぎ、更に肉付けしていくことになりますが、まずは私が羅臼町長に立候補して、町民の皆様に訴えてきた『想像から創造へ』というキャッチフレーズを具体化していくことであると思います。

町民の声にしっかり耳を傾けること、そして羅臼町の現状を町民の皆様に知ってもらい、そのうえで将来の羅臼町を想像（イメージ）して頂くことから始めたいと思っております。

羅臼町民が幸福になるための『Kプロジェクト』として『知床らうすの未来を考えるアンダー60創造会議』と『知床らうすの未来を支えるオーバー60協力隊』を設立致します。

『知床らうすの未来を考えるアンダー60創造会議』では、これからの羅臼町の未来を60歳以下の町民で考え、実践していくことになります。

この創造会議への参加資格は60歳以下の町民、もしくは知床らうすをこよなく愛する人であるということだけであります。

自分の興味のあるテーマによって自由に参加できるように致します。会議の中で出た様々な課題や問題点や夢や希望などをテーマとし、開催していきたいと考えております。

この創造会議では、自分たちの未来は自分たちで考えるということに「気づき」、同じ志を持った仲間が集い「結束」し、しっかりと「計画」をたて、自ら「行動」し、「結果」を出し、それを「検証」して次に生かしていくこと、すなわち「継続」をするといった7つの『K』を頭文字にした行動目標をかかげ活動することで、町づくりへの参加意欲と自主性、公共性のもと、新たなリーダーが現れることを期待するものであります。

『知床らうすの未来を支えるオーバー60協力隊』では、アンダー60創造会議で話されたことをお伝えし、助言・提言を頂くと共に若い世代の応援団として「後援」頂き、共に活躍「協働」し、経験に裏付けされた良き習慣や歴史や技術、大自然の中で生きていくための知恵など、次世代を担う若者たちに「継承」して頂きたいと思っております。この世代の抱える様々な不安や問題についても一緒に考え、解決策を見出し世代を超えるいろいろな問題については、アンダー60創造会議とオーバー60協力隊と共に、

お集まり頂きご相談させて頂くことと考えております。

このような「機会」の提供を通じ、町民の皆様には自分の町のことは自分たちで考え、創りあげていくといった意識を持って頂きたいと希望するものであります。

行政としましても、すべてお任せするのではなく、必要なものや効果の期待できるもの、すばらしいアイデアなどには積極的に助成「公助」していくものでありますし、最終的な「決断」と責任は当然、町長である私にあることは言うまでもありません。

それぞれの世代や立場を理解しあい、共に活動することで「絆」を深め、「郷土愛」を育み、知床らうすの素晴らしい未来を創造していくことを願っているものであります。

『幸福』と感じる物差しも、持っているスキルや経験もそれぞれ違うわけですから、お互い協力し、尊重しあい、善意をもって行動していく町民の「心」こそが、まちづくりの基本にあると思っております。

まちづくりの基本方向

「地域を支える産業の活性化」

・「未利用資源による新たな製品開発」を実施し、6次産業化に向けた取り組みや地域内循環を好循環へ転換させる取り組みについて、漁業協同組合をはじめ各団体と協議して参ります。

・根室海峡を漁場とする標津町、別海町におきましてもロシアトロール船の操業が確認されたことにより、今後もオール羅臼と3町合同によるロシアトロール船の即時操業停止についての要請活動を実施して参ります。

・「観光PR用DVDの作成」や「道内外の旅行会社への観光誘致やPR事業」を実施し、これまで以上に観光協会をはじめ、関係機関の協力を頂きながら、より一層トップセールスを行い観光振興に努めて参ります。

・町内の団体、一般住民によって「昆布フェスタ」の開催や「地場産品の炭火提供」など新たな動きがでてきておりますので、今後も地域の主体的な取り組みに対して積極的に支援し、道の駅かいわいの活性化に努めて参ります。

・農業につきましては、全道的、管内的に見ても酪農を取り巻く後継者問題が深刻な課題となっておりますことから、離農者が発生した場合に備えて、今後とも関係機関と連携を図りながら誘致活動を行って参ります。

「安全・安心なまちづくり」

・「自分の命は自ら守る」という防災の原点にたって、地域における被害の拡大防止や軽減を図るため、自主防災組織の推進や防災訓練をとおした活動の促進を図って参りましたが、いまだ不十分な体制でありますので、地域防災力の向上に取り組んで参ります。

・地域特性や住宅事情等を踏まえた「羅臼町町営住宅等長寿命化計画」を策定しており、「安全に安心して住み続けられる良質な町営住宅の形成」を目指して事業を推進して参ります。

「幸せを感じる医療・保健・福祉・介護の充実」

・「自分の健康は自らがつくり守るもの」という意識を基本に、「検診を受けることは自分や家族のために大切なこと」として職場や家庭で自分の健康に関心を持っていただくと共に、関係機関と連携強化を図り、受診しやすい環境の整備などを継続して実施して参ります。

・診療所の運営につきましては、医療と保健と福祉・介護が連携した地域包括ケアの推進を図ると共に、町民の命を守るためにも、社会医療法人　孝仁会には、引き続き運営をお願いして参りたいと考えております。

・少子化対策支援事業として、「結婚祝金」「第3子以降の出産祝金」「幼稚園入園料補助」事業の実施と子育て支援センターと役場庁舎内に「授乳スペース等」の環境整備を図って参ります。

・障がいのある人もない人も、お互いを対等な人格として尊重し合い、人間として対等な立場で共に支え、共に生き、共に参画できるような社会の実現を目指し一般就労も含めて、障がいのある人の働く場の確保・拡大を進めていく必要があり、地域活動支援センター等と連携し、障がい者の自立生活の基盤づくりに向けて引き続き支援して参ります。

「身の丈に合った財政健全化の実現」

・町税の納期内納税の推進、収納率の向上を図るほか、「釧路・根室広域地方税滞納整理機構」と連携し、より公平・公正な徴収事務を進めると共に、納めやすい環境づくりに努めて参ります。

・「ふるさと納税」の特典制度につきましては、関係機関からの協力も頂き、より効果的な方法で早急に実施して参ります。

・歳出全般の内容を検討し、特に人件費については短期的・長期的な考えのもと改めて見直しも含めて検討して参ります。

おわりに

以上で私の在任中における所信の一端とまちづくりの基本について申し述べさせて頂きましたが、町民の安心安全を守るために多くの課題解決をしていかなければなりません。

行政運営を維持していくため、安定した財源確保が極めて難しい重大な問題として認識し、次世代の子どもたちに誇れる羅臼町を創っていくために、勇気を持ち、大きな決断をする時期であると考えており、町民の皆様と一緒に考え行動をしていく「未来創造」を実践する行政を執行して参ります。

そのために、全身全霊、羅臼町民と羅臼町発展のために全力を傾注して参りますので、議員各位をはじめ町民の皆様、そして羅臼町を応援して下さる全国の皆様にご支援ご協力をお願い申し上げ、私の行政執行方針と致します。

教育長行政執行方針

地域づくりの基盤として教育が果たす役割を見据えながら、生まれ育ったふるさとと羅臼の躍進を創造し、たくましく行動する心豊かな町民の育成を図るため、関係機関や関係団体と連携をしながら教育行政を推進して参ります。

新教育委員会制度がスタートいたしました。教育行政の重点施策である「教育の大綱」の策定を進めて参ります。

町立中学校の新校舎建設に向けまして、実施設計の策定作業を進めて参ります。

新しい社会の中で夢と希望の実現に向けて力強く成長することができるよう、学校や関係機関・関係団体と連携を深め、「羅臼の子どもは、羅臼の大人が、羅臼の町で」を基本に「知」・「徳」・「体」の調和のとれた成長と発達を全力で支援して参ります。

また、学習することができ、学習成果を生かすことのできる生涯学習社会に入り、学ぶことの重要性が益々増しています。

このことから、町民の皆様が生涯にわたって豊かな学びが続けられるよう職員が一体となって最善の努力を傾注して参ります。

学校教育の推進

学校教育につきましては、子どもたちが、逞しく生きて行くために必要な基礎的・基本的な知識と学力及び技能を確実に習得させると共に、未来の羅臼町を担う人材が育つために求められる思考力や判断力、表現力などが培うよう、幼小中高一貫教育を進めて参ります。

学校と家庭が取り組むPTA活動を充実させ、地域と連携した取り組みを充実していきながら、開かれた学校づくりを推進して参ります。

・人間形成の基礎を培う幼稚園教育を目指します。
・確かな学力を育む学習指導を推進します。
・信頼される学校づくりを目指します。
・豊かな心や健やかな体を育む教育を推進します。
・特別支援教育の推進を目指します。
・ESD（持続可能な社会の実現のための教育）の推進を目指します。
・中学校の適正配置計画を推進します。

社会教育の推進

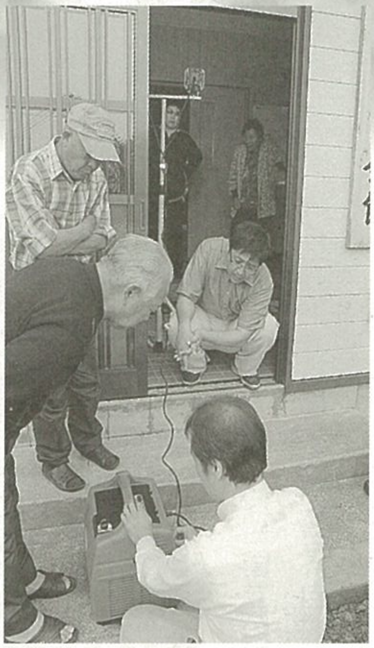
「第6次社会教育中期計画」の最終年となり各種事業を推進する中で、青少年活動の支援をはじめ青年リーダーの育成に努め、町民一人ひとりが自ら必要な活動を実践し、生きがいのある活動につながるよう、学びの成果が活用できる生涯学習社会の実現を目指して参ります。

・地域の課題をみつめ、自主・自立のまちづくりを目指します。
・心を結ぶ文化活動で、潤いあるふるさとづくりを目指します。
・健康の増進、コミュニティづくりに役立つスポーツ活動を目指します。

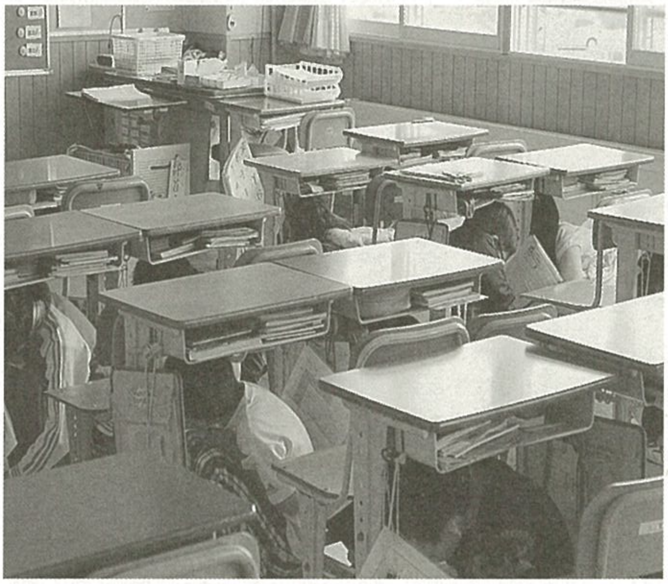
未来を担う子どもたちが、新しい生涯学習社会の中で夢と希望が実現するよう力強く成長することと、町民の皆様が生涯にわたって豊かな学びが続けられるよう職員が一体となって教育施策を着実に実行して参ります。

平成二十七年度羅臼町防災訓練終了

去る六月十七日（水）に防災訓練を実施致しました。町内会をはじめ、全学校、全幼稚園や福祉関係事業者、買受人組合、漁業協同組合、ビジターセンターのほか、一般企業が避難訓練やシェイクアウト訓練に参加をいただきました。また、関係機関による情報伝達訓練等の連携訓練には、羅臼海上保安署、陸上自衛隊第３０２沿岸監視隊、羅臼駐在所、羅臼消防署、知床らうす国保診療所のほかに、今年はＮＰＯ法人羅臼スポーツクラブらいずが初めて参加され、総勢一三〇〇名の参加となりました。



発電機と照明機器の試験



地震発生時のシェイクアウト訓練

今回の訓練では、大地震と津波の発生を想定して行い、各地域・職場で、一時避難場所の確認と津波到達予想時間までに避難できるかを確認する訓練でありました。また、町の防災備品である衛星携帯電話や発電機、照明機器の試験を町内会の皆様に実際に体験してもらいました。この他に、消防、診療所の連携による負傷者受入訓練や、海上保安署、駐在所、漁業協同組合による大津波警報発令に伴う注意喚起など災害時に行う関係機関の訓練を実施致しました。

防災訓練は次年度以降も継続して実施致しますので、町民皆様のご参加をお願い致します。

今回参加された方々、ご協力をいただいた関係機関の皆様、大変ありがとうございました。

負傷者受入訓練

知床国立公園50周年・世界遺産10周年記念式典・講演会を開催

昭和39年6月1日に国立公園に指定され、平成17年7月に世界自然遺産に登録された知床は、昨年で国立公園になって50周年、今年は世界遺産に登録されて10周年を迎えております。

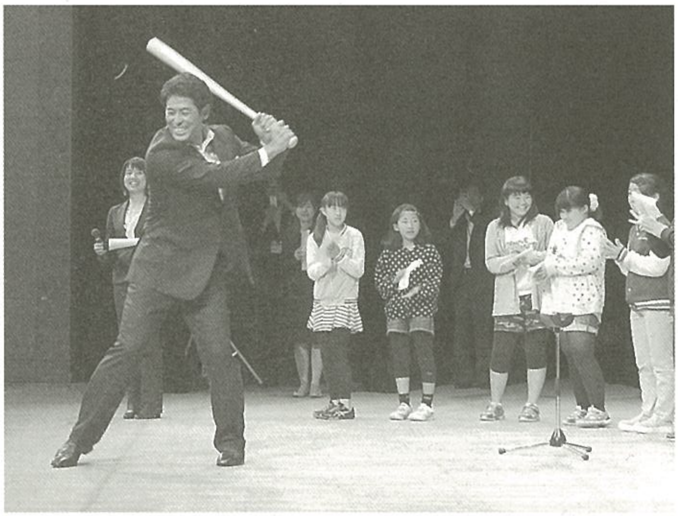
この二つの大きな節目をワンセットにして、昨年から様々なイベントを実施しておりましたが、この周年事業期間の最後の月となる7月4日に環境省、林野庁、北海道、斜里町などと共に、斜里町のゆめホールを会場にして、記念式典と講演会を開催いたしました。

斜里町長の歓迎のあいさつで幕を開けた式典は、環境大臣、北海道知事、北海道森林管理局長の主催者代表の挨拶、来賓を代表して、武部衆議院議員、鈴木衆議院議員、高橋北海道議員の挨拶と続いた後に、国内の世界自然遺産である、白神山地、屋久島、小笠原諸島の所在町村から、お祝いのメッセージが披露されました。

主催者挨拶をする高橋知事

環境省が制作した「知床の歩み　そして未来へ」と題した、知床の特徴とこれまでの活動を紹介する映像が大スクリーンで流された後には、知床の自然遺産を大きく特色付けることになった科学委員会を代表して、委員長である桜井泰憲氏より、専門家の立場からのこの10年を振り返る話がされました。

講演会は、日本ハムファイターズのスポーツ・コミュニティ・オフィサーの稲葉篤紀さんが、式典全体の司会をされたＮＨＫキャスターである山内ゆりかさんと会話を交わしながら、会場にも参加を呼びかける形で行われました。



羅臼の子供たちの前で素振りをする稲葉篤紀さん

稲葉さんは、知床が世界遺産に登録された平成17年に、ヤクルトから日本ハムファイターズに移籍、昨シーズンに現役を引退されて、現在は野球競技の普及や地域コミュニティの活性化に取り組んで

います。今回は野球の話に加えて、環境保全への取り組みの話をしていただきました。

講演の最後では、会場からの質問を募って、稲葉さんが指名した方に壇上に上がってもらい、マンツーマンで受け答えしてもらいました。また、登壇された方のリクエストと会場の拍手に応えて、壇上に用意されていたバットで、稲葉さんが素振りを披露するというパフォーマンスもありました。

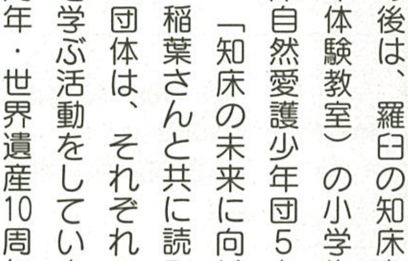
メッセージを発信する知床キッズの子どもたち

講演の後は、羅臼の知床キッズ（ふるさと少年体験教室）の小学生8名と、斜里の知床自然愛護少年団5名が壇上に登場して、「知床の未来に向けたメッセージ」を、稲葉さんと共に読み上げました。

この二団体は、それぞれの地域で自然や文化を学ぶ活動をしていますが、国立公園50周年・世界遺産10周年を記念して、昨年から交流を兼ねて合同での活動も始めています。

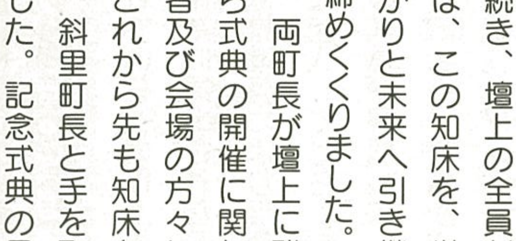
羅臼の小学生から「私たちの住む知床には、様々な生き物を育てる豊かな自然があります。」とメッセージが始まり、斜里の最後の子どもが「自然とその恵みを生かし、人と自然が共生するこの地を、将来に引き継ぐ責任があります。」と発言したのに続き、壇上の全員が大きな声で「私たちは、この知床を、世界の宝として、しっかりと未来へ引き継いでいきます。」と締めくくりました。

最後には、両町長が壇上に残り、湊屋羅臼町長から式典の開催に関して、関係機関と関係者及び会場の方々にお礼の挨拶があり、これから先も知床を保全し続けることを、斜里町長と手を取り合って誓い合いました。記念式典の最後を飾るにふさわしい感動的な壇上の光景が、600名の席の方々と、席に座りきれなかった立ち見の方も含めて、満場の拍手を誘って最期を飾ることになりました。



誓い合いながら斜里町長と手を組み合う羅臼町長

記念式典は盛会のうちに終了しましたが、私たちはもちろん、この世界遺産の町・羅臼町での生活を今後も続けていくことになります。この周年記念の節目に、自分の行動や身の回りの状況が、果たして本当に世界自然遺産の住民として相応しいものであるかどうかを、今一度確認してみるきっかけにしてみてはどうでしょうか。



羅臼町内の不法投棄

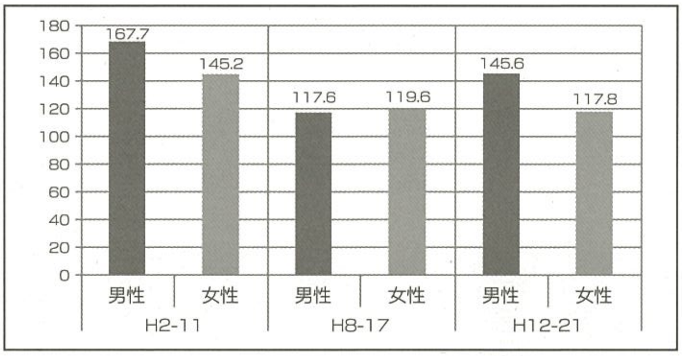
皆さんの心の健康は保たれていますか？

今、私たちの日々の生活は社会の影響を受け、ストレスと無縁に暮らすことは難しい状況ではないでしょうか。そのような中で羅臼町では自殺による死亡率が高く、10数年前から心の健康について研究をしたり、アンケートを行うなどの取り組みを行ってきました。

今回は町民の皆さんの心の健康状態アンケートの結果をダイジェスト版でお知らせします。皆さんはどうお考えになりますか。

※自殺死亡率の推移

全国の死亡を100とした場合の羅臼町の死亡の状況です。いずれの時期にも100を超えており、自殺により亡くなる方が多いことがわかります。



調査期間　平成26年10月14日から23日

調査対象　平成26年8月末現在で羅臼町に住民登録されている30歳以上の住民から、無作為に抽出された555名

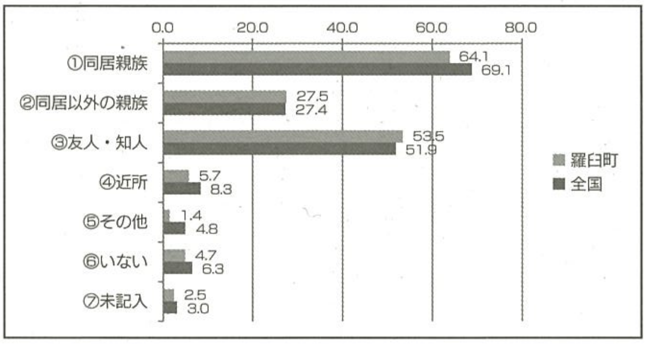
調査方法　羅臼町保健推進員により調査票を配布。自己記入してもらい封入し、後日保健推進員が回収しました。

調査結果　有効回答数555名中、488名から回答がありました。（87.9％）

Q1．あなたの周囲の人たちとの関係についてお聞きします。

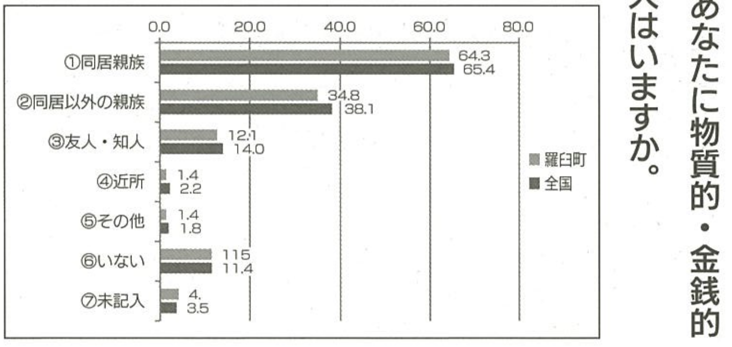
（1）あなたの不安や悩みやつらい気持ちを受け止め、耳を傾けてくれる人はいますか。

「同居親族」が一番多く、次いで「友人・知人」でした。身近な人が悩みを聞いてくれると感じているようです。



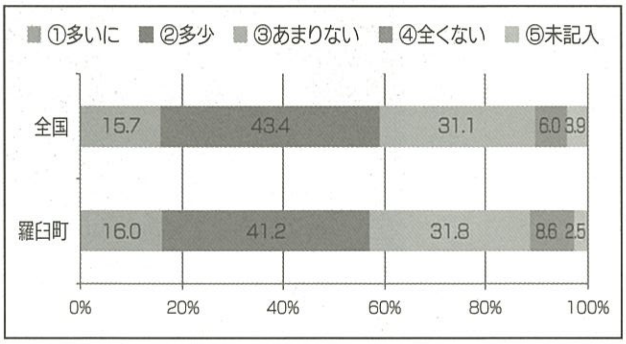
（2）必要なとき、あなたに物質的・金銭的な援助をしてくれる人はいますか。

ここでは「同居、同居以外の親族」と答えています。実際の援助をしてくれる人となると「友人・知人」は少なくなるようです。悩みの相談に比べ「いない」と答える人が多くなっていました。



Q2．あなたは、この1ヵ月間に不満・悩み・苦労・ストレスなどがありましたか。以下の中であてはまるもの1つだけに〇をつけてください。

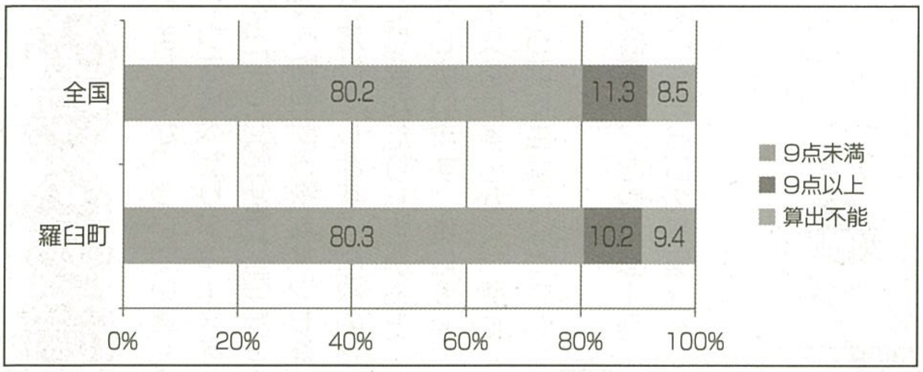
不満や悩み、ストレスが「ある」と答



えたのは全国と同じような割合で、「大いにある」「多少ある」を合わせると半数を超えています。年齢別では若い世代が悩みやストレスがあると答えている割合が高かったです。

Q3．心の健康が崩されているかの目安になる「K6」という数値を算出しました。

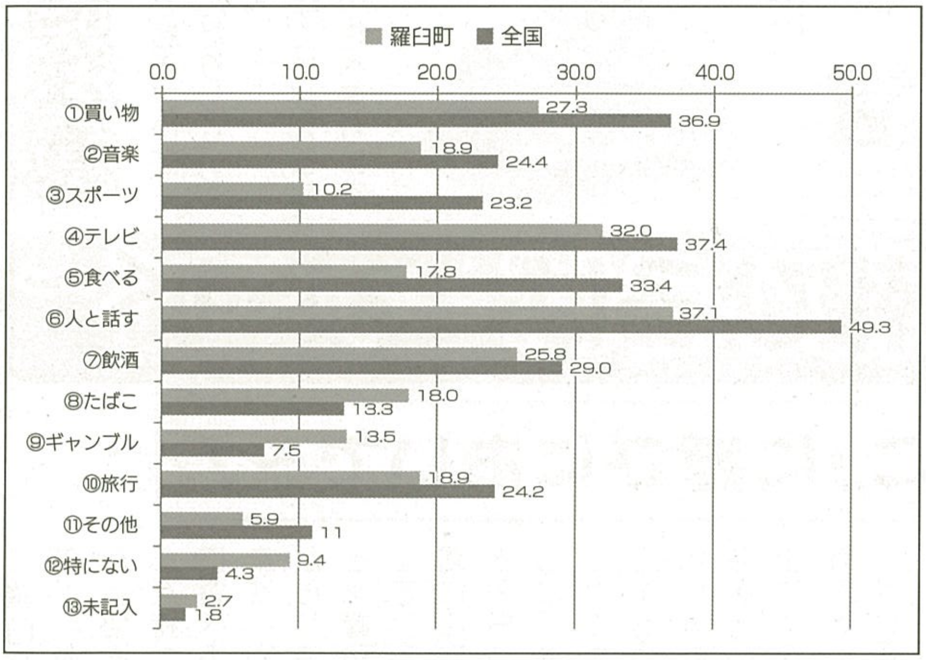
9点以上が心の健康を崩されている可能性が高いと思われますが、全国とほぼ同じ率でした。1割以上が高い得点を示しています。



Q4　あなたが日常生活でストレスを解消するために良く行うことはなんですか。

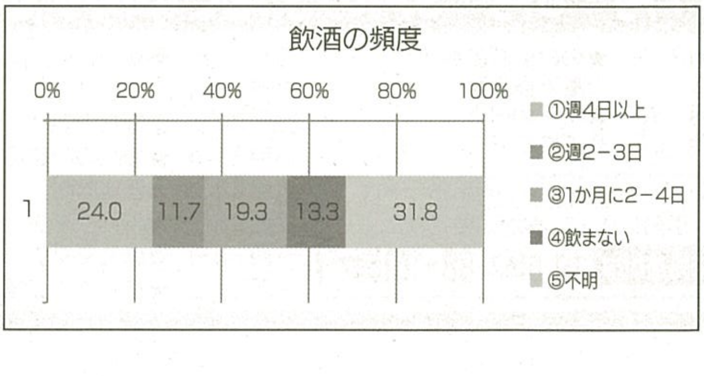
全国の回答に比べ、全体的に回答率が低い中で「たばこ」「ギャンブル」「特にない」の回答は高い状態でした。

たばこやギャンブルは依存性が高いものであり、心身に与える影響が懸念されます。



Q5．飲酒についてうかがいます。

ストレスやうつと関連が強いとされる飲酒の頻度では、週4日以上と回答したのは全体の24％でした。これは健康を害する頻度と言われており、健診でも「毎日飲酒をする」と回答する割合は全国に比べ高いことが特徴です。自分なりにストレスをコントロールする方法を持つことは、とても大切ですが、健康を害したり、経済的な損失が大きな場合は社会的な問題となってきます。自分も周囲の人も知らず知らずのうちに心の健康を害している恐れもあります。「いつもと違う」という違和感に早く気づき、必要があれば精神科などの専門外来を活用しましょう。



ヘルスチェック

夏休みもムシ歯に注意

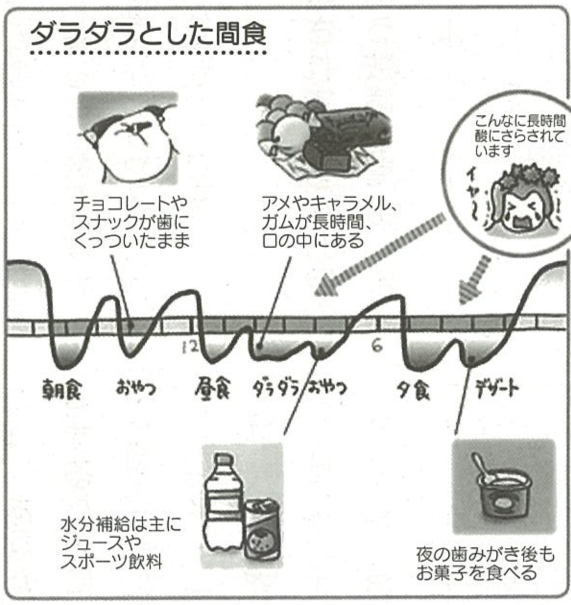
夏休みに入りましたが、ついつい遅くまで起きていて、好きな時におやつを食べたりジュースを飲んだりしていると、体にも口の中にも心配な事が起こります。

口の中は、食べ物や飲み物（水やお茶は除く）が入るたび、酸性の状態が続いてしまいます。だ液の力で中性へ戻りますが、ダラダラ食べたり飲んだりしていると酸性となり歯が溶けだします。特に乳歯や生えたばかりの永久歯は柔らかく、酸に溶かされてあっという間に虫歯になってしまいます。

規則正しく3回の食事と、おやつは1回までとして生活することがお口の健康へとつながります。ちなみに、ジュースも1回のおやつです。

もちろん、食後の歯磨きは忘れずにしっかりして、大事な歯を守りましょう。

また、治療の必要な歯がある人は、休みの期間を利用して歯科受診をしましょう。



子育て情報ひろば～すくすく～

『ありんこ』に遊びにおいで～！

羅臼町子育て支援センター『ありんこ』では0歳から幼稚園入園前のお子さんを持つ親子を対象に自由に遊べる空間を提供しています。開放時間は9時30分から11時30分までで火曜日と水曜日は午後からも開放しているので都合の良い時間にご利用下さいね。毎週水曜日には手遊びなどで楽しむ、ありんこ広場を行ったり、年に数回、予約制の行事も開催しています。6月には室内でミニミニ運動会を行い、5か月から3歳までの子どもたちで盛り上がりました。

ぜひ遊びに来て下さい！

★7月・8月・9月の子育てに関する情報♪

★→ありんこが会場　☆→公民館が会場　※→役場

7月31日	★のびのび広場 ☆離乳食教室
8月 3日	★ママの日♪
8月 6日	☆ぷれママ♪
8月 7日	★すくすく広場
8月18日	☆ぷれママ♪
8月20日	☆離乳食教室
8月21日	★のびのび遠足
8月26日	★春幼訪問
8月28日	★ぷれママ♪（絵本）
9月 3日	☆ぷれママ♪
9月 4日	★すくすく広場
9月 7日	★ママの日♪
9月 9日	★羅幼訪問
9月10日・11日	☆2歳児相談
9月16日	★お祭りごっこ
9月17日	☆ちいさい子のお話し会
9月25日	★のびのび広場 ☆離乳食教室
9月28日	★計測

＊のびのび遠足とお祭りごっこは事前に申し込みが必要です

お問い合わせは TEL 0153-88-1515まで

～みんなで育む･みんなの診療所～

まち愛健康講座から地域の健康作りを始めよう

「まち愛健康講座」開催しています！！

知床らうす国保診療所では、昨年から２か月に１回待合室で健康講座を開催しています。これは、町民の皆さまに、ご家族やご自分の健康について考えて頂くひとつのきっかけづくり、また親しみやすい診療所、気軽に活用して頂ける診療所づくりのために始めた講座です。

この講座は、テーマや講師の検討などの企画段階から様々な職種の人が、知恵を出し合って作り上げています。アンケートでは、最も関心の高かったテーマが「認知症」でした。「自分がもし、認知症になったらどうしよう」「家族のもの忘れは認知症なのだろうか？」など心配はつきません。そのため、今年４月から「認知症なるほど講座」を掲げ、次回は、８月１９日（水）「認知症の方への接し方・支え方」１０月は「認知症の周辺で起こりうる問題」を予定しています。様々な職種の人が、町民の皆さんの病気の予防や健康づくりへ貢献していきたい。何よりも、参加して頂いた方々が、興味をもって楽しんで、聞いて、体験して、これからの生活に役立てていただきたいといった願いのような特徴を持たせている講座です。今年の“お楽しみ”は、参加して頂くとポイントが貯まる“ポイントカード”を作成したことです。所定の回数になると、健康グッズのプレゼントを考えています。健康づくりに楽しみがつくことは「自分の健康に関心を持ち、行動を起こす」ことへの励みに繋がるのではないでしょうか。

「医療者の地域貢献を考える」～高齢者学級　こまぐさ学級へ～

この春、こまぐさ学級の皆さんの輪の中へ、診療所看護師が講師となり参加させていただきました。　６月は「春のお目覚め体操」７月は「昆布場のりきる夏のストレッチ」を看護師の視点から提供いたしました。笑いあり、涙あり、健康へアドバイスありで、昨日より今日、今日より明日が少しでも元気になって頂けたらという看護職による看護の地域貢献と考えます。

～「まうカフェ」へどうぞいらしてください～

地域の輪の中に入った看護師による「健康教室」へお誘いあわせのうえ、どうぞいらしてください。診療所は病気を治す以外にも、健康へのお手伝いのお仕事もあると考えます。「まう」は、職員住宅の名称です。語源は、ハマナスの果実。ハマナスは、花から根・果実にいたるまで、染料やジャム・紅茶などの食用とすべてに有効活用される植物です。看護師たちも、地域へ有効的に貢献してほしいという願いを職員住宅の名称にこめました。そのため「まう」には、地域へ貢献するための交流スペースがあります。そこでのまず一歩が「元気な町づくり　まうカフェプロジェクト」です。少人数で、日ごろの悩みなどの健康相談から簡単にできる健康体操などを考えています。

「まうカフェ」職員一同お待ちしております。

～お問い合せ～　知床らうす国保診療所　TEL87－2116

羅臼町副読本
「知床学」が完成!!

羅臼町は、知床半島に位置し世界でも稀な豊かな自然のある世界自然遺産の町です。

この度、幼小中高一貫教育の取り組みとして、幼稚園から高校までが一貫して知床羅臼の自然や文化等が学べる当町独自の副読本「知床学」が完成しました。

子ども達が、身近な郷土の歴史や自然への興味や関心を深め多くの体験をすることで、豊かな心情や思考力を培い創造性を育てます。

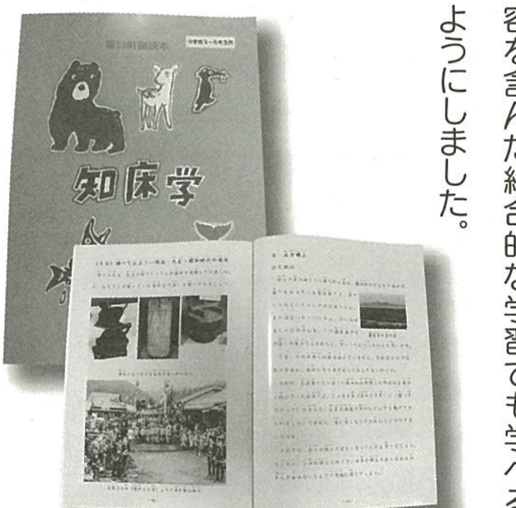
副読本の特徴は、幼稚園から小学校1、2年生用、小学校3～6年生用、中学生・高校生用の3部編成で作成されています。

幼・小1、2学年の部

幼稚園は遊びを通して、小学生は、生活科を通して生き物・草花・四季の変化、山や川の名・海産物・公共施設などの内容で写真を中心に全ページカラー版としました。

小学校3～6年生の部

3、4年生の社会科をベースにし、知床学のねらいを加味して理科の内容を含んだ総合的な学習でも学べるようにしました。



中学校・高校の部

社会生活編と自然史編とに分かれ、中学校1年生では、植物・大地、中学校2年生では、動物・天気、中学校3年生では、遺伝・科学技術・環境保全とし、高校は、知床学概論の教科書となる内容になっています。

現在、中高一貫や地域で取組んでいる「知床学」に使えて、「知床学検定」のテキストにもなります。

副読本を通して、教育的なねらいを明確にし、体系的・系統的な取り組みを進めることは世界自然遺産の町、知床を次世代に継承していく活動に繋がっていきます。

お問い合せ
教育委員会学務課
TEL 0153-87-2129

YOMU YOMU 図書室だより

防災！生きぬくために

～防災！起きる前に『備える』、万一の時に『守る』ことについて考える～

公民館図書室には、「まさか！」に備えて防災を考える本が多数あります。
家族で話し合うきっかけづくりにお役立てください。

「防災！生きぬくための図書展」
（6/23日～7/13日）約120冊と
羅臼町防災備品を展示しました。

※羅臼町ホームページで展示した図書リストを見ることが出来ます。

羅臼町防災備品

■提げる背負う2WAYで、飲料水を持ち運べるパック
■非常食
■手回し充電できるラジオライト等

夏休み★キャンプは防災教育のチャンス!

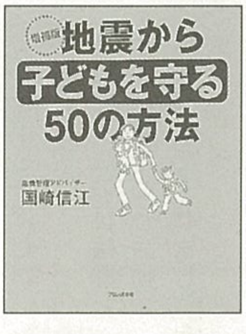
「防災ピクニックが子どもを守る!」

災害時に役立つサバイバル術を楽しく学ぶ

【内容紹介】
水を節約したい災害時にハイゼックス炊飯袋でご飯を炊く方法や、非常時のトイレを試してみるなどアウトドア体験で日常生活力を磨く方法を紹介しています。
NPO法人ママプラグ編著
メディアファクトリー
1,000円

「地震から子どもを守る50の方法」

【内容紹介】
増補版で、商品紹介の情報や関連データが掲載されており備えをするときに便利です。多くの人の実体験が記載され参考になります。
国崎信江著
ブロンズ新社 1,300円



「必ず役立つ震災食」

【内容紹介】
最小限の水で作る栄養満点レシピで「便利なポリ袋調理法」が詳しく掲載。
北國新聞社刊 1,050円

「らうす寺子屋KIDS」応援団 協力者募集！

8/3～6日午前中、公民館で子どもを見守るお手伝いです。詳細は公民館へお問い合わせください。

城下町のわだい
みんなでまちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載していきたいと考えています。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

5月20日(水)

今年も売り上げの一部をご寄付いただきました。

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（佐々木康行社長）より町内の自動販売機の売上金の一部「306，437円」を知床・羅臼まちづくり基金の「知床の自然保護・保全に関する事業」に寄付していただきました。

内田取締役からは、「寄付を通じて、お客様の一人ひとりの知床自然環境保護を応援する気持ちを届けさせていただきました。」とお言葉をいただきました。

この寄付は2008年から頂戴しており、8年間での寄付金の総額は「2，663，234円」となりました。ありがとうございます。

6月7日(日)

ルサ～相泊間のゴミ清掃

強風が吹く中、漁業協同組合の職員や組合員、環境省職員、役場職員など総勢約70名がルサフィールドハウスに集まり、ルサ川から相泊にかけての海浜地や道道を4つのブロックに分けてゴミ拾いを行いました。

空き缶やペットボトル、弁当の容器など、様々なゴミが集められ、トラックに載せてゴミ処理場へと運ばれていきました。

中には不法投棄と思われるゴミもあり、世界自然遺産の町として残念でなりません。

一人一人の意識を高め、ゴミが落ちていない綺麗な街になるといいですね。

6月13日(土)

18年続く清掃活動に感謝

おだやかな天候に恵まれた午前中、本町みどりの会（野田照雄会長）の皆さんがオジロ橋周辺の草取り作業をしてくださいました。この会の会員は40名で平均年齢は75歳とのことで、膝をついての長時間の作業は決して楽ではないと思いますが、皆さん楽しくお喋りしながらも、手は休めず細かいところに生えている雑草をきれいに取ってくれました。

この会の活動は春、秋と年2回で18年間続いているそうで、改めて長年の清掃活動にこの場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

また、この日は群羊会の皆さんも活動に参加してくれました。

6月20日(土)・21日(日)

入場者一万人を超えた熱い2日間！

第54回知床開きが羅臼漁港を会場として開幕されました。

今年は前夜祭・本祭ともに晴天に恵まれ、1万人を超す入場者数を記録し大賑わいの中、二日間の日程を終えました。

一日目は、中高生によるよさこいの演舞で始まり、綱引き大会や花火大会、二日目には千人踊り、ドッヂボール大会、移動水族館展示など様々な催し物が行われました。

来場者の方々は見て楽しむだけではなく、開きホッケや、カニ、つぶ等の海産物が焼ける炭火焼きコーナーで、羅臼の味覚を堪能していました。

二日間での一番の盛り上がりは、演歌歌手大江裕さんの歌謡ショーで、ステージ前には多くの方が集まり、その歌声とトークで会場は拍手と笑顔に包まれました。

期間中、お手伝いいただいた方、ご来場いただいた方、みなさんありがとうございました。

6月27日(土)

浜の母ちゃんの手作りが盛りだくさん！

道の駅「知床・らうす」イベント広場において、漁協女性部による浜の母ちゃんごっこ市が開催されました。

当日は、開催時刻前からたくさんの町民の方が並んでおり、開店するとタイミングよく居合わせた観光バスのお客さんで更に混雑し、魚類の他に炊き込みごはんやかりんとうなど、母ちゃん手作りの物が、わずか20分ほどで売り切れました。

「ごっこ市」はこの後、6回の開催を予定しています。

7月8日(水)

「全員全力大声野球」をスローガンに

第36回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会に出場することになった春松イーグルスが役場を訪れ、町長に大会出場の報告をしました。

この日役場を訪れたのは1年生から6年生までの計20名で、選手を代表して川村光主将が「自分たちの野球でチーム一丸となり、優勝を目指したい」と熱く語り健闘を誓いました。

7月15日(水)

自作のポスターで街頭啓発

ドライブ日和な晴天の中、春松小学校の3年生から6年生の生徒の代表18名が、小学校前の国道で、ドライバーへ安全運転の呼びかけを行いました。

この活動は夏の交通安全運動に合せて春松小学校が独自に企画し、実施しました。

児童たちは車が通ると、自作のポスターや交通安全の旗を持って、大きな声で「安全運転お願いします！」と声かけをしていました。

みなさんも子どもたちのため、そして自分自身のためにも、スピードの出し過ぎ等に注意し安全運転を心がけましょう。

北海道日本ハムファイターズ
～北海道179市町村応援大使2015～

「WE LOVE HOKKAIDO シリーズ 2015」期間中の7月10日（金）から3日間、札幌ドームにおいて、応援大使市町村のうち14市町村が参加し「第6回なまらうまいっしょグランプリ」が開催されました。

各市町村より一品を出品、購入者の投票数により順位が決定され、当町からは羅臼漁協女性部7名が参加し「こんぶドーナツ」を出品。購入した女性は「ほんのり甘くて美味しいし、昆布も入っていて体に良さそう。子どもと一緒に食べたいと思います。」と話していました。

最終的には10位という結果でしたが、石田女性部長は「天気が良く、とにかく会場が暑かった。そのような中、たくさんの方に購入していただき、リピーターも多く、みなさんの美味しいという声で3日間乗り切れた。今後の取り組みに活かしたい。」と充実した様子でした。

ご協力ありがとうございました。

出品したこんぶドーナツ

情報ひろば RAUSU TOWN INFORMATION

TAXコラム
（税務財政課通信）

「町税及び国保税の第1期分の納税はお済みですか？」

平成２７年度分の町税及び国保税の第１期分の納税は、お済みですか？
今年度より、納期限を過ぎて納税した場合、延滞金を加算して徴収いたします。
今後とも、納期内に納税するようお願いいたします。
また、納期内に納税されない場合は、不動産、自動車、預貯金、給与、生命保険等の差押えの対象となりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「納期内納税できない場合は、納税相談を！」

納期内納税とは、期別ごとに定められている納期限内（第１期の納期限は6月３０日）までに納税することです。納期限より納付が遅れることを滞納といい、滞納した日数に応じて延滞金が加算されていきます。
納期内納税できない方は、分割納税など納税相談にも応じていますので、速やかにご相談ください。

【例】税額10万円で納期限が6月30日の税を12月30日に納めた場合(6カ月間遅れた場合)
(10万円×31日×2.8％÷365日)＋(10万円×152日×9.1％÷365日) ≒ 4,027円
延滞金　４，０００円

税務財政課では、休日や夜間窓口も随時開設しておりますので、ご相談の際にはぜひご利用ください。

【7・8月の夜間窓口】
〈7月〉7月３１日（金）午後８時まで　〈8月〉8月３１日（月）午後８時まで
※7・8月は、休日窓口を休止いたします。

うっかり、滞納者にならないため
口座振替や、納税貯金制度を活用しましょう

＜お問合せ先＞
役場税務財政課　TEL８７－２１１３

職業訓練 受講生募集

対象
ハローワークに求職の登録をしている方

建築荷役車両運転科
20名

ビジネスワーク科
15名

申込受付期間
8月7日(金)～9月4日(金)

見学会
8月21日(金)・8月28日(金)

選考日
9月10日(木)

訓練期間
10月1日(木)～3月29日(火)

費用
1万5千円程度（テキスト代）

申込先
ハローワーク釧路
TEL０１５４－４１－１２０１

お問合せ先
ポリテクセンター釧路
TEL０１５４－５７－５９３８

寄付寄贈 ありがとうございました

知床・羅臼まちづくり基金

【知床の自然保護・保全に関する事業】
ダイキン工業株式会社　様
北海道コカ・コーラボトリング㈱　様

【中学校改築に関する事業】
根塚文夫　様
谷誉祥　様
加藤隆栄　様
加藤榮妙　様
有限会社　中谷漁業部　様

（平成27年4月14日～平成27年6月30日受付分掲載）

おくやみ申し上げます

（敬称略）

赤ちゃん誕生

（敬称略）

（掲載はいずれも平成27年5月11日～平成27年7月10日受付分）

（掲載はいずれも平成27年5月11日～平成27年7月10日受付分）

羅臼いさり火吟社

6月例会句 平成27年6月

五月雨の音懐かしきテント泊　悠羅

五月雨や神官袴はしょりをり　英美

独り言増えたと思ふ五月かな　鹿山

夜の色に沈みて溶けぬ白牡丹　泥舟

床の間に活けし牡丹や漁家座敷　羅牛

五月雨の音聞く夜の目覚めかな　日奈

廃船にかもめ肩寄す五月雨　千帆

俳句同好会「羅臼いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、下記までお問い合わせ下さい。

〒086－1823　羅臼町栄町
羅臼いさり火吟社
宮　腰　　實
（電話0153－87－3758）

人の動き

平成27年6月末現在　（　）内は平成27年5月末対比

人口	5,496人（－15）	男	2,722人（－ 7）
世帯	2,162世帯（－ 3）	女	2,774人（－ 8）

羅臼町民憲章

（昭和45年9月15日制定公示）

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- ●自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- ●健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- ●教養を高め、豊かな情操を育てます。
- ●仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- ●子どもたちの夢と、若い力を育てます。

編集後記

7月17日、知床が世界自然遺産に登録され10年が経ちました。
当時、登録決定の瞬間を撮影しようと町長室がテレビカメラや記者であふれていた光景が思い出されます。
文化遺産に対して極端に少ないといわれる自然遺産、選ばれること自体難しいことや、自然環境によって危機的状況になることもあり、10年間維持されてきたこと自体すごい事なんだと思いました。
改めて世界自然遺産に住んでいる者として、小さな事かもしれませんが自然を害さないよう暮らしていきたいと思います。（Y）

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
http://www.rausu-town.jp/